



## 肺がんCT検診認定機構メールマガジン

第22号

2017年10月号

### 目次

|                            |   |
|----------------------------|---|
| 肺がんCT検診認定機構 理事就任のご挨拶       | 1 |
| 施設認定アンケートのご案内              | 2 |
| 認定医師トレーニングのご案内             | 2 |
| 肺がんCT検診認定機構 講習会および試験日程のご案内 | 3 |
| 関連会議のご案内                   | 3 |
| 編集後記                       | 4 |

### 肺がんCT検診認定機構 理事就任のご挨拶

(メールマガジン第21号(2017年4月号)つづき)

氏名：栗井和夫  
所属：広島大学大学院 医歯薬保健学研究科 放射線診断学  
専門分野：画像診断



この度、本認定機構の理事を拝命いたしました。

低線量肺がんCT検診については、2011年に米国のNational Lung Screening Trialの結果が発表されて以来、我国でも多くの医療従事者の注目を集めるところとなりましたが、国内の自治体で積極的にCT検診を推進しているところはまだ少なく、精度管理、データの追跡調査等も十分でないと思われまます。

私が居住している広島県でも、広島県地域保健対策協議会(広島大学、広島県、広島市、広島県医師会の4者により、広島県の保健・医療・福祉に関する事項の調査・研究及び協議をする組織)で、平成25年から28年にかけて、低線量肺がんCT検診が事業として取り上げられ、広島県内におけるCT検診の実施状況の調査、普及啓蒙のための医療従事者向けの講演会、CTの精度管理のための診療放射線技師を対象として研修会、三次市・三原市におけるCT検診実施の支援等を行ってきました。私はその活動の委員長をしておりましたが、その経験の中で、CT検診実施のための財源確保、対象とする被検者の選定、読影や精度管理の構築等、数々の問題が山積していることを痛感しています。今後は本機構の理事として、国内に広くCT検診を普及させ、ひいては肺がんの死亡率を大きく減らすことを目指して、活動してゆきたいと考えております。皆

様には、ご指導、ご支援のほど宜しくお願いいたします。

※そのほかの理事のご挨拶は、前号（2017年4月19日発行 肺がんCT検診認定機構メールマガジン 第21号）をご参照ください。

## 施設認定アンケートのご案内

現在、NPO法人肺がんCT検診認定機構では次年度（平成30年）よりCT検診を実施する施設に対する「施設認定（案）」の準備を進めています。施設認定の目的は低線量肺がんCT検診（以下、CT検診）における精度管理、画質管理、装置管理、線量管理を全国統一的行うことで日本全国、いつ、どこでも安全で精度の高いCT検診を受けることができる体制を構築することであり、CT検診の精度管理が行われていることを明示することで受診者に対し、安心して受診して頂くことにあります。

なお本アンケートは現在、肺がんCT検診認定医、および認定技師の資格をお持ちの方のみにお送りしています。認定医、認定技師が複数名いる施設は職場を代表する方、1名の方のご記入で結構です。下記URLよりアンケートにご協力のほど、何卒よろしくごお願い申し上げます。

URL：<https://www.kuba.jp/ct-kensin-nintei/facility/query/formmail.php>

## 認定医師トレーニングのご案内

肺がんCT検診認定医師としての能力を維持さらにはスキルアップしていただくため、5年ごとに認定更新をしていただきます。

肺がんCT検診認定医師の更新条件の中に、「②NPO法人肺がんCT検診認定機構が課すCD等による認定医師用読影トレーニング実施結果提出」とありますが、このページでの認定医師用読影トレーニングがそれに該当します。

この読影トレーニングは更新のための必須項目（7単位）であり、毎年一定期間だけホームページにアップします。認定医師の方におかれましては、取得後5年の間に1回だけ読影トレーニング結果をウェブにより事務局に送信してください。正解と解説は後日ホームページ上で公開します。

この作業はあくまでも自己研鑽のためのトレーニングであり試験ではありません。読影結果をお送りいただいた方にはトレーニング終了証明証をお届けします。

認定医師トレーニングフォーム：<http://www.ct-kensin-nintei.jp/ishi/training/index.html>

## 肺がんCT検診認定機構 講習会および試験日程のご案内

### 第14回 認定技師更新講習会 ※申込み終了

日 時 平成30(2018)年11月18日(土)

会 場 広島県医師会館(広島県)

### 第19回 認定技師定期講習会、認定試験

日 時 平成30(2018)年2月17日(土)、18日(日)

会 場 駒澤大学(東京都)

申込期間 **平成29(2017)年11月1日(水)～11月22日(水)**

### 第15回 認定技師更新講習会

日 時 平成30(2018)年2月17日(土)

会 場 駒澤大学(東京都)

申込期間 **平成29(2017)年11月1日(水)～11月22日(水)**

### 第14回 認定医師更新講習会 兼 認定医師新規認定講習会

日 時 平成30(2018)年3月18日(日)

会 場 大阪・大阪国際会議場

### 第15回 認定医師更新講習会 兼 認定医師新規認定講習会

日 時 平成30(2018)年8月5日(日)

会 場 東京・一橋講堂

※スケジュール等は、随時HP、メルマガ等にてお知らせいたします。

## 関連会議のご案内

### 第25回日本CT検診学会 学術集会

テ ー マ 高精度CT検診の普及とがん死亡の減少をめざして

開 催 日 2018年2月9日(金)～10日(土)

会 場 新潟グランドホテル(〒951-8052 新潟県新潟市  
中央区下大川前通3ノ町2230番地)

アクセス <http://www.ni-grand.co.jp/access/>

大 会 長 和田真一(新潟大学医歯学系保健学系列)

事前参加登録期間 2017年10月16日(月)～12月29日(金)

演題募集期間 2017年10月16日(月)～12月1日(金)

事 務 局 第25回日本CT検診学会学術集会 大会事務局  
〒951-8518 新潟県新潟市中央区旭町通り2-746  
TEL: 025-227-2398 FAX: 025-227-2398



第25回日本CT 検診学会学術集会 運営事務局  
(株) アド・メディック内  
〒950-0078 新潟県新潟市中央区万代島5-1 万代島ビル 13F  
TEL : 025-245-4087 FAX : 025-247-8101  
大会HP : <http://www.jscts.org/taikai25/>

## 編集後記

時ならぬ台風の来襲が相次ぎ各地に被害が出ておりますが、皆様がたのほうはいかがでしょう。

さて肺がんCT検診認定機構のメールマガジンをお届けいたします。

懸案の施設認定制度のスタートに関連して理事を増やすことになり、新しく就任された理事の方々に寄稿していただいております。今回は広島の実井教授から大変に心強いお言葉をいただきました。

また、施設認定の予備的な調査を行うことになりましたので、ドックを含めてCT検診を行っている施設からは必ずお一人はご回答くださいますようお願いいたします。

認定医師の読影トレーニングおよび各種の講習会等の日程のご確認もよろしくお願います。施設認定が始まりますと認定技師の在籍と認定医師の読影は必須になりますので、該当する方は必ず期間内にお受けください。特に認定技師の資格は会場の関係で受験すること自体も難しいので、更新を忘れることがないようにお願いします。

本機構は6学会の連携のもとにスタートしましたが、その中心になっているのが日本CT検診学会です。この学会の学術集会が2月に新潟で開かれますが、すでに事前登録や演題の募集も始まっております。認定医師・技師の皆様はぜひお誘いあわせの上ご参加するとともに未入会の方はこの機会にぜひ入会をお勧めします。

喫煙率の低下と精度の高い検診の普及が肺がん死亡減少には極めて有効と思われれます。禁煙に関しては受動喫煙防止法が検討され喫煙率低下への施策が示されてきていますが、検診に関しては対策型検診への低線量CTの導入はまだ認められておりません。認定制度の充実で、全国どこでも精度の高い検診が提供できるようにすることが、対策型への導入には最も必要と思います。

(文責：金子昌弘)

## 肺がんCT検診認定機構メールマガジン

### 第22号

2017年10月27日発行

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-11-15 UEDAビル6F  
株式会社クバプロ内「NPO法人肺がんCT検診認定機構事務局」

編集責任者 金子昌弘

TEL : 03-3238-1689 FAX : 03-3238-1837

E-mail : [ct-nintei@kuba.jp](mailto:ct-nintei@kuba.jp)

WEBSITE : <http://www.ct-kensin-nintei.jp/>